● 発行 ● 三重県小中学校長会 津市桜橋 2-142 三重県教育文化会館内 TL 059-227-7011 E-mail info@mie-kochokai.com ●編集 ● 三重県小中学校長会 広報委員会 ●印刷 ● 光出版印刷株式会社 松阪市久保町 1885-1 TL 0598-29-1234 ●編集●三重県小中学校長会 広報委員会



読み聞かせ

あると考えています。 の状況の改善に向けて、校内研修の活 な考え方や主体的に学習に取り組むこ 障壁により、自尊感情に乏しく、多様 者・地域との絆が大切なキーワードで にして学校全体で取組を続けてきまし とができにくい児童もみられます。こ にも一生懸命取り組む児童が多く在籍 区にもつ学校です。元気で素直、 くからの在所や田畑が広がる地域を校 マンションやアパートの多い地域、 職員の同僚性とひたむきさ、 保護者や地域との協働を大切 厳しい生活環境や言葉の 何事 保護 古

教師の学びを深める 校内研修の推進

び教師自身の学びの振り返りを行って 修長を中心に、 して実効性の高い校内研修を推進して 基礎学力部、 を進めてきました。平成29年度は、 を中心にして、「伝え合う授業づくり」 本校では、平成23年度以降、 ワークショップ型の研修会を定 成果と課題、改善点の発表及 また、 学習環境部の三部構成と 研究授業の事後検討会 研修委員会を学習部、 算数科

援と温かい見守り、児童に向き合う教

働できる人間関係が、学校教育目標 師の真摯な姿勢と努力、一致団結・協

生

なっています。 したちの学校」

づくり推進の原動力と

心がひびき合うわた

私の学校づくり

生き生きと活動し 心がひびき合う



本校の概観

キーワード

大型量販店や様々な店舗

わたしたちの学校

鈴鹿市立清和小学校 校長 芳 田

厚

保護者・地域との協働 果をまとめ、次年度への改善の手立て としています。本校の強みの一つです。 います。 年度末には各自の一 年間

習支援、 等の部門で、 等で児童を笑顔にしてくれています。 れています。PTAのOB会の方々は、 企画・実行して児童との絆を深めてく ネーターを中心に、 教室が年間30回余り開催され、コーディ 低学年児童を対象とした放課後子ども ています。 校の見守りなど、 民生委員・主任児童委員の方々に、学 があります。学習、 方々がバリエーションに富んだ催しを ンティア「エンヤコラ(援爺姑等)の会」 ザーの屋台や餅つき大会、奉仕作業 学校運営協議会内の組織としてボラ 保護者・地域の方々の惜しみない支 読み聞かせ、 また、隣接する公民館では、 保護者、老人会、自治会、 幅広く支援いただい 地域サポーターの 読書、 環境整備、 今後に向けて 環境、 安全 登下

いま改めて思うこと 今日的課題の克服に向けて ~学習指導要領 の問題に直面しているからです。 めません。いま私たちは時間管理

東員町立笹尾東小学校 校長 大 西 宗 和

うでもいいのではないか」と思っ ていたこと、同時に答えに窮して いたこと、が思い出されます。 たちは、「そんな細かいこと、ど アバウトな時間管理をしていた私 か?」という質問を受け、もっと 間を何分とっていらっしゃいます の方に、「御校では、帰りの会の時 なかったと思われる「教務主任 出かけました。当時、三重にはい 愛知県のある小学校へ研修視察に 二十年ほど前、 先輩教師と共に、

を重ねて考えると、隔世の感は否 今回の学習指導要領改訂のこと

ラブ然り、児童会・委員会活動然 を及ぼすものであります。必修ク の教育活動のあり方に大きく影響 共に、現在行っている教育課程外 が二十九(四年生以上)となるこ これまでになかったことであると とが明確になりました。これは 今回の改訂では、初めて週時数

扱っていくか、ということであり は、そういった時間をどのように に考えておかなければならないの したがって、 週時数を増やす前

ありません。 けられない、といっても過言では 事柄に対する配慮はまったく見受 める側にはそのような「些末」な しかし、残念ながら、改訂を進

てきます。 応策」が、 間にする」など、悲鳴にも似た「対 前中に五限設ける」「夏休みを十日 そのため、「七限目を設ける」「午 果たして、それでよい 全国の学校から聞こえ

> のでしょうか。 もがNGだと考えております。 私見ですが、その対応策いずれ

なければならないのではないか。 あり、必要なことだと理解して ける英語科の導入は時代の要請で ます。しかし、それならば文科省 外国語活動の拡充や小学校にお 週時程全体を考えて改訂をし

と思われてなりません。 ティ」を超える改訂がなされた の意味での「一週間のキャパシ ントロールする者不在の中で、直 各教科・領域の専門家が一時間で も多く確保しようとし、全体をコ

調査して決められたことなのか、 責任者にお伺いしたい、というの れるのか、学校の教育活動全体を 動のことをどのように考えておら

しかし、そのような中にあって 新学習指導要領実施に対応し

増やすことになるのでしょう。 学校は何らかの方法で、総時数を 遅くとも平成三十二年度には、 子どもたちは、 どの曜日も毎日

それぞれの週時数については、

が本音であります。 いったい、子どもの一週間の活

ていないということでしょうか。 たち校長の役割だと思います。 都合であるから、初めから考慮し ていかなくてはならないのが、私 教育課程外の活動は、各学校の

> ければならないのです。 を強いられることになるのでしょ る弊害への責任は、校長が負わな う。そして、そのことで起こりう **六時間の授業(一コマは課外活動)**

を中心に据え、生活のあり方や教 置く者の良心として、 いりました。 育活動のあり方について考えてま 私たちは、これまで教職に身を 子どもたち

す。 どもたちのために存在しているの ならないと、今、改めて思うので や学校における教育活動は、「子 どんなに時代が変わっても、学校 そのことを忘れてはなりません。 だ」ということを決して忘れては 今後も、校長をはじめ教職員は、

当たり前の学校づくり

伊勢市立明野小学校 校長 伊 豆

敏



明野小学校の概要

数が増加し、マンモス化が見込ま の北部に位置している。毎年児童 本校は宮川西岸の伊勢市小俣町

> を含む二十四学級である。児童数 た学校である。現在、児童数は約 年(昭和五十五年)に分離創設し 市立)小俣小学校から一九八〇 れていた度会郡小俣町立 は増加傾向にあり、 六○○人、学級数は特別支援学級 今後七○○人 (現伊勢

今日的な課題

を超えることが見込まれている。

るため、職員にスケジュール管理 連携の大切さを呼びかけている。 の徹底と仕事の効率化、職員間の では、限られた時間を有効活用す 取り組まなければならない。本校 間の縮減やメンタルヘルス対策に 談や種々の調査に加え、総勤務時 実施への対応、保護者との教育相 めや不登校、新学習指導要領本格 学力向上、特別支援教育、いじ

明野小学校での一日

十分から食物アレルギー児童の給 間の職員打合せ。九時半から約二 る。昼前に検食を済ませ、 子を見るのはとても楽しみであ 童の顔写真を持ちながら授業の様 時間、各教室を回って授業参観。 台パソコンの掲示板を使って五分 の確認をし、八時十分から一人一 導。八時からは教頭と一日の日程 学校近くの交差点に立ち登校指 は、朝七時二十分に出勤した後、 子どもたちの名前を覚えるのに児 私の場合、一日のスケジュール 十二時

【二】人には個性があり、特性

大三時二十分から掃除の見回り。 十三時二十分から掃除の見回り。 十三時四十五分から掃除の見回り。 十三時四十五分から掃除の見回り。 十二時四十五分から再び各教室へ 授業参観。市教委からのメール 授業参観。市教委からのメール がなければ出来るだけ早く帰るよ がなければ出来るだけ早く帰るよ がなければ出来るだけ早く帰るよ がなければ出来るだけ早く帰るよ がなければ出来るだけ早く帰るよ がながら一日のスケジュール管理と ながら一日のスケジュール管理と ながら一日のスケジュール管理と ながら相談 でいる。職員も多忙な中、 子どもたちとの活動を最優先にし ながら一日のスケジュール管理と

仕事の推進にあたって

職員が楽しく安心して仕事が出来るよう、毎回の職員会議で年度来るよう、毎回の職員会議で年度たって」と題したプリントをもとに話をしている。これまでの反省を踏まえて職員間の連携のために気に留めておいてほしい当たり前のことを十六項目にまとめたもののことを十六項目にまとめたものである。一部を紹介すると、

【一】何事も「人間関係」が基軸である。私たちの場合は互いに「好き嫌い」ではなく職業人(プロ)として、使命感とか責任感を持ちながら、学校全体のことを考えて協力して仕事をしなければならない。その際に何事も基軸になるのが「人間関係」である。

働していくのが職場である。 働していくのが職場である。

【三】常に学校全体を考えること。 仕事は個々に行うものではなく学 校全体で行うものであり、そのた めの連絡・調整をきめ細かく行う こと。いくら素晴らしい実践でも 学校や学年で足並みがそろってい なければ意味はない。

学校の見解を混同しないこと。公平であり、正当な評価を行う。公平であり、正当な評価を行う。保護者等からの相談や要望等は、保護者等からの相談や要望等は、保護者等からの相談や要望等は、保護者等からの相談や要望等は

校長としての目標



情報教育と機器の発達

校長花 岡 繁治



本年度より、本校にタブレットをの利用へと進めていく計画であいる。教員が道具としてどのようにアプリを活用していくかというにアプリを活用していくかというが四十台整備され、研修を進めてが四十台を開からスタートして

機だった。最初は、画面も小さな まりつつあったのはワープロ専用 趣味のものであり、教員に広く広 私が採用された時代は、やっとパ 史は機器の発達の歴史でもある。 代であるが、学校の情報教育の歴 コンやタブレットを使っていく時 かたや個人でパソコンを買うとな 爆発的に普及していった。しかし、 できるようになり、教員の中でも 進化し、全体の構成を見ることが 作るという代物だった。それから 面積で全体を想像しつつ、文章を だまだコンピュータは一部の人の ソコンが世に出てきた時期で、ま 今では、当たり前のようにパソ

> きた世代である。自分は平成十年 好き嫌いにかかわらず、関わって 間の歩みは、学校の情報化の歩み すべてそろえると五十万円ほどか 日的課題としたい。 る。以下その文章を紹介して、今 ろがあるのではないかと考えてい のタブレット導入にも通じるとこ をのせている。時代は違うが、 の研究のまとめに次のような文章 に、市の研修員としてコンピュー でもあり、現在の校長先生方は、 たのである。まさに平成の三十年 ら、学校の情報教育もスタートし た。今では、数万円で手に入る まで行かないと選べない時代だっ 重県でも販売店は少なく、名古屋 いかず、箱から出しても、 ると、ワープロ専用機のようには タ利用について研究を行った。そ かったと記憶している。この頃か こともあるコンピュータが当時は かりで設定する必要があった。三 一日が

「教員がコンピュータを操作し、 「教員がコンピュータを操作し、 うかは別だが、必要だと思ったと うかは別だが、必要だと思ったと うに使える能力が必要であるとい きに使える能力が必要であるとい きだろう。 関心をもつには、ま るだろう。 関心をもつには、ま るだろう。 関心をもつには、ま

いうことになりかねない。

い別室や生徒用のパソコンルーム

日常的に接する機会がなく、コン

日常的に接する機会がなく、コン

い別室や生徒用のパソコンルーム

ではないかと思う。」 進校も多い。しかし、そこへ行き 学校ぐるみで取組を進めている先 ネット利用であり、校務処理であ さらに無駄な時間を減らしていけ 共通して取り組める命題があり、 専用機よりも便利だと体感でき、 教育に有効に活用していくために トワークを広げていくことが必要 からまずスタートし、 るからだと思われる。今ある環境 ゆる職員室からの取組が欠けてい た前段階の、見えない取組、 という背景には、今まで述べてき れども自分の学校じゃ無理だな」 研修会に参加し、『すばらしいけ してきたかが重要である。数々の つくためには、どのような環境を で数々の実践が報告されており、 ろう。授業活用については、今ま 命題とは何か、それは、インター よいのではないだろうか。共通の る何かを職員室から考えていけば タの方が普段使っているワープロ は、その前段階として、コンピュー 整えてきたか、どのような工夫を すべての教員がコンピュータを 理解のネッ

県教育委員会との懇談会

「働き方改革について」「学力の向上について」 をテーマに

平成二十九年十二月十五日(金)

於:県教育委員室

拶で懇談会が始まりました。 切にする教育の徹底」の再確認と 労働に対する現状説明を含めた挨 全国学調)結果及び教職員の過重 全国学力・学習状況調査(以下 た。その概要について紹介します。 県教育委員室において行われまし 会教育長および幹部との懇談会が まず、川合会長からの、 小中学校長会役員と県教育委員 「命を大

革」「命を大切にする教育・いじめ 結果に対する支援体制」「働き方改 の学校運営への労いの言葉の後に 「管理職の給料減額」「全国学調の 続いて、廣田教育長から、日頃



川合会長あいさつ

廣田教育長あいさつ

協力依頼がありました。 の防止条例策定」についての説明・

の説明 ◇吉村学力向上推進PT担当課長 (一) 学力の向上について

採点し、躓きの把握・解消④経年 スタディ・チェックの活用…自校 学力定着、先生の負担軽減③みえ やワークシートの活用…子どもの 修会など②学―Viva!!セット りのフィードバック、授業改善研 振り返りの質的改善、校長の見回 ①授業改善に向けた取組…めあて・ 以下のように取り組んでいく。 のように身につけさせていくか、 学習指導要領に求められる力をど 全国学調の厳しい結果を受け、

> 事の派遣 訪問・重点支援、 点取組…平均を下回った学校への 用学―Viva!!セットの活用⑥ 引用・要約など、全ての教科での 的課題の克服…根拠に基づく考え、 調結果の課題への対応⑧下半期重 付⑦理科への対応…過去の全国学 学力向上県民運動としてチラシ配 家庭・地域への情報発信…みえの 系統的取組⑤家庭学習支援…宿題 市町への指導主

《意見交換》

)授業で理解している児童をさら りを他校にも配付し、 組を共有している。 ートを活用している。学校だよ に伸ばす視点も考え、

○北勢教育支援事務所の指導主事 読書の問題に、町教委とともに らっている。家庭学習・スマホ・ り組んでいる。家庭学習では、 を招聘し全教員が授業改善に取 補充学習では支援員をつけても ワークシートを活用、放課後の

○三年前、

)取組は早ければ早いほうがよい

ワークシ 各校の取

取り組んでいく。

○生徒一人一台のタブレットで ワークシートなどをいつでも見 られるようにしている。朝の十 で活用している。また、学ーV 分間学習や放課後補充学習など iva!!通信のエキスを職員に

主体的に学力向上に取り組んで 学校自ら、校長自らが

> チェックの紙ベースでの配付を ワークシートやみえスタディー 長が集まる場で確認した。また、 いく必要があると、市町校長会

○小学校は取組が定着しやすい、 ○小学一年でも、朝の学習で静粛 と考えるが、手応え感はどうか。 もよいが。 ようなことはないか。中学校で もっとこうした方がよいという 効果が出やすいと言われる中で、 な取組ができるようになった。

○小中学校が連携しながら、基本 的な問題から積み上げていくこ とが必要である。

○これまでの取組で一定の成果は ○分からないことを授業で出して、 あったが、来年度は、校長会で かりと伝えていきたい。 長会から依頼して作っていただ たい。学Vivaセットは、校 も学力向上部会を再立ち上げを ことができ、成果をあげている。 ことで、分かっている子も伸ばす それを分かっている子が説明する いたことを、若い校長にもしっ し、今後の取組を検討していき

○本当の基礎学力がついておらず、 校とも連携して、どの段階で定着 高校に入学してから徹底的な学び させるか考える必要がある 直しが必要になっている。小中学

(二) 働き方改革について

◇校長会から説明

必要がある。 市町教委のそれぞれが取組を進める いるが効果が薄い。学校・県教委・ 直し、部活動休養日などを実施して して、定時退校日の設定や会議の見 会議などがあげられている。対策と 部活動指導、事務的業務、 要因として、生徒指導、保護者対応、 ートから、時間外労働が多く、その 校長会特別委員会が行ったアンケ 研修会·

《意見交換》

○部活動休養日について、八割を ○定時退校日と会議時間の短縮に 取り組んでいる。鈴鹿市はライ を県が策定してくれると、 ない現状もある。ガイドライン 各種大会の関係で十分休めてい 超える学校が設定しているが、 ていて本校も取り組んでいる。 トダウンキャンペーンを実施し しやすいのでありがたい。 説明

○定時退校日について、声かけは ○ガイドラインの中間案は一定の ○会議時間短縮について、話が長 していると思うが、先生方の早 の策定委員会で議論を進めたい。 関わる課題等についても、今後 評価をもらった。中体連の大会に 生徒や先生のためのものである。 部活動ガイドラインについては、 くならないよう意識してほしい。 く仕事を済まして早く帰ろうと

○早く済まそうとしても、そんな ○毎週火曜日に設定し、互いに声 日に限って問題が起こる いう意識はどうか。 帰宅できるよう声をかけている。 をかけることで進んできた。また 〜

二時間でも年休を取って早く

三重県教育委員会

出席者

○「今日はこの仕事まで」など一日 組んでいる。 ぐ動く、皆で動く」をキャッチフ 帰らせるようにしている。さらに のゴールを決めて仕事をするよう 教頭が時間の割り振りをして取り レーズに、仕事に満足させてから にしたら効果があった。また、「す 会議は提案・協議・連絡を分別し

○紀州教育支援事務所の設置に伴 けると、より研修に参加しやすく 変ありがたい。今後は、全体で行 東紀州の地域でも実施していただ う研修などもブロック別に分けて を派遣してもらうことができ、大 い、研修や校長会等に指導主事等

幹

事



本 部 役 員 だ よ **り**

第 53 学校長会教育研究三重大会の ▣ に向けて 東海 • 北 陸地 区連合



教職員課班 芳成 元宏 学力向上推進PT担当課長

教育総務課長

長﨑 山 田

敬之

正廣 善典

次長(研修担当

次長(育成支援・社会教育担当)

辻

次長

(学校教育担当)

宮路

正弘 雅之 芳定

次長(教職員担当)

副教育長 教育長

木平 廣田

副会長 三重県小中学校長会 長 川合陽一郎

まあ、

숲

広報委員会副委員長 広報委員会委員長 西村 川岡加寿子

室谷 宇佐美好孝 正史 屋の中は暖かく、係の方と話すう りとりです。入れていただいた小 今日は見られますか? の、駐車場での私と係の方とのや 宝寺のライトアップに行ったとき 濡れるで中へ入んな。」 「ようきてくれたな。 これは、紅葉で有名な鳴谷山聖

理伸 方は、 ほとんど雨に濡れずに紅葉と境内 められる駐車証をくださり、 解れていきました。この後、 で催されていた琴の演奏を楽しむ ことができました。

「全体会8・6%、分科会8・8%」

方をはじめ、

それぞれの郡市校長

小学校部会長 三重県小中学校長会

宇

佐

美

好 孝

れなく思っていた私の気持ちは、 ちに、突然の風雨の襲来でやりき 「すみません。こんな天気ですが 境内に隣接する駐車場に停 私は 係の 雨 らもそれぞれの意見に耳を傾ける これは今年度の第54回三重県小学 先生方の姿から充実感を感じるこ ぎみでした。しかし、今年度は違 率が下がり、 われました。最近は分科会の参加 び、分科会の研究協議が活発に行 参加率は、昨年度より九%近く伸 昨年度に比べて参加率が上がりま いました。分科会場の和やかなが 出席者のモチベーションも下がり プを組み換えることが続いていま ループでの討議ができずに、グルー 校長教育研究大会の参加率です。 とができました。各地域の理事の した。また、空席が目立つことで、 した。午後から行われる分科会の 当初予定していたグ

> 様々な学校事情を調整して当日参 さったことが大きかったです。メー 会が、広報等の取組を行ってくだ 生まれる大会となりました。 会員一人一人が創るもの」という、 今年度の大会は「本研究大会は、 加してくださいました。こうして、 行われたことで、多くの先生方が、 ルや市町校長会等の場で、何度も 大会当初の原点に立ち返る動きが 日程の確認や参加への呼びかけが

みましょう。 学校長全員の力を結集して取り組 生方に、 地区六県から、時間をやりくりし たくさんの校長先生方が準備に携 ただける大会になるよう、県下小 て三重の地に来てくださる校長先 いきたいと思います。 でできることをしっかり準備して になるように、限られた時間の中 充実した研究協議が行われる大会 でお迎えするとともに、分科会で の駐車場係の方のような心づかい わってくださっています。聖宝寺 すでに実行委員会が立ち上げられ、 教育研究三重大会が開催されます。 回東海・北陸地区連合小学校長会 十八日 (木)・十九日 (金) に第53 さて、 来てよかったと思ってい 平成三十年度には十月 東海・北陸

「戦艦大和 私 の薦める の 最 冊

後

熊野市立金山小学校 充

校長

た。享年九十一歳。 書では坪井平次)先生が亡くなられ の著者、元中学校長 坪井平二 (本 坪井先生は、戦艦大和の乗組員の 平成二十六年七月二十五日、 本書

報

| 教員として働いていた坪井先生が徴 だった。本書は師範学校を出て新米 中で生還を果たした数少ない一人 兵され、一兵員として乗艦した大和 日進小学校で一年間だけ教鞭をと の最期を綴った貴重な本である。 昭和十八年、坪井先生は熊野市立 徴兵され、その後「大和」に乗

らの攻撃を受ける。極限状態での戦 戦に従軍。特攻艦「大和」は、 道だけの燃料を積んだ沖縄水上特攻 闘態勢。左舷に魚雷の集中攻撃を受 の南海上に出た直後、米軍戦闘機か 月には、帝国海軍の矜持をかけた片 レイテ沖海戦に参加。昭和二十年四 り組み、高角砲の信管手として約一 た「大和」では、マリアナ沖海戦 年間、大和が沈むまで最前線で激闘 世界最大最強の不沈戦艦と言われ

中、坪井先生は意識を失う。 沈みだしてからは早かった。沈む途 甲板へ。「大和」の赤い腹が見える。 船の傾き。「総員退去」の艦長命令で、 直ぐ進めない。さらに被弾。相当な け、船の傾斜と左回旋が始まる。真っ

名しか助からなかった。 名の乗組員のうちわずか二百七十余 「大和」は沈没し、三千三百三十二

流ののち、駆逐艦「雪風」に救助さ 気がつけば海面で漂流。二時間の漂 ショックで、心臓が再び動き出し、 れ、生還。 和」が沈没後起こした爆発の爆風の 意識を失っていた坪井先生は、「大

どもたちへも生の声で語っていただ これらの壮絶な体験は、のちに子

その後、学校での語りを行うことが 子をビデオに収めた。坪井先生自身、 体調が思わしくない中、無理を押し が何回かあった。特に、最後に担任 もたちにも、語っていただいたこと もお供えさせていただいた。 なかったと後日知り、そのビデオを、 体験談を記録しておくため、その様 した六年生のクラスでは、先生の て教室まで来ていただいた。平成 大切に保管するとともに、ご仏前に 一十三年一月の事であった。貴重な 私自身が教諭時代、クラスの子ど

います。

績に敬服するとともに、 ある。後世に伝えるべき一冊である。 のその壮絶な体験談を記した名著で あらためて、坪井先生の生前の功 『戦艦大和の最後』は、坪井先生 ご冥福をお

教員生活をふり返って 随

紀北町立船津小学校 内 山



一えていて何でも安心してできました。 たことです。先輩方は若く、和気あ 子どもも海辺の子どもらしく素朴で えているのはとにかく無我夢中だっ このようなスタートが切れたおかげ 明るかったので、楽しく過ごせました。 の時を精一杯勤めたように思います。 い毎日でしたが、私なりにその時そ いあいと語り合い、主任はどっしり構 初任は、小学校の分校でした。覚 教員生活をふり返ってみると、忙し

| ことが、今につながっているように どうしようか考え取り組んでいます。 く、若い私の拙い実践も認めてくれた 我が子に感謝 ました。あまり手をかけてもらえな 動があり、家族には本当に世話をかけ たことはやってみて、失敗したら次は 思います。それ以来自分がよいと思っ 人として母としてがんばっています かった我が子もそれなりに育ち、社会 次の学校でも、ベテランの先生が多 子育ての時期に研究会や組合の活

一年中運動をしているような学校

たちと楽しんだものです。 私に合っていて、水が大好きな私は 五十を越えても海での遠泳を子ども

想

志貴子

で、三十八年間続けられたのだと思

に勤めたときは、動くのが大好きな

強く感じました。 域の方、ボランティアさん等多くの 方に助けていただき、人の温かさを い本当に大変でしたが、保護者や地 教頭として勤めた学校で水害に遭

受けてくれ本当に人の繋がりのあり することばかりでしたが、快く引き がたさを感じました。 域の方との繋がりを十分活用させて 勤めていた学校であり、保護者・地 いただき活動ができました。お願い 校長として赴任した学校は、以前

ざいます。あのね・・・」と笑顔で話し ごしています。 かけてくれる日々を楽しみながら過 られながら、子どもが「おはようご 未だに足りないところを職員に助け 最後の勤務校の本校でも、自分の

け支えていただいた多くの方に本当 その成長に少しでも関われたことを に感謝致します。 幸せに思います。そして、何より助 この三十八年間、子どもの側にいて、

出会いと感謝 朝日町立朝日中学校



雄

終わろうとしている。その教員生活 まもなく三十七年間の教員生活が

という言葉が思い浮かぶ。 を振り返れば、やはり出会いと感謝

教師たちとの出会いのおかげで、長 共に研鑽し協働してきた先輩や同僚 ら打ち込んだサッカーとの出会い、 れた恩師との出会い、中学生時代か いる。只々、感謝である。 い教員生活を無事に終えようとして 教職の道へのきっかけを与えてく

等が備わった気がしている。 力、判断力、洞察力、人を動かす力 組織の把握に努めながら、人を観る や学年主任の役割をあたえていただ われる要因が二つあると思っている。 己の成長に大きく影響を与えたと思 いたことで、自分なりに生徒と教員 三十七年間の教員生活の中で、 一つは、若い時から生徒指導主任

支えてくれたことで業務を円滑に進 輩、同僚の教師たちが自分を理解し 命として果たしてきたのだが、協働 点は重要であると思う。 められたことに感謝している。改め していただいた管理職の先生方、先 し進め、教員組織を動かすことを使 て立場や役割が人を育てるという視 当然、率先垂範しながら業務を推

た。その指導者としての力量が認め ると同時に、チームが常勝していっ ると選手個人のスキルレベルが上が を与えた。情熱を燃やし活動してい Jリーグが開幕し、技術指導指針が く務めさせていただいた。同時期に 校教育ではサッカー部顧問として長 る協力をさせていただいている。学 である。現在もサッカー環境を整え 示され、我々指導者にも大きな影響 もう一つは、サッカーとの出会い

1日 られ、県協会の三種委員長の役割に 長年着くこととなった。 この結果、日本を代表する指導者

や高校の優れた指導者、県選抜チー 国の指導者と出会い、その出会いは サッカー技術だけでなく他国異文化 ムを率いて海外遠征を行った際に外 影響をあたえてくれたと感謝してい を広げ、その後の教員生活にも良い に影響を与えた。人間としての視野 に触れ物事への捉え方や考え方など

の方が多かったように思う。 返れば助けていただき救われたこと い経験をしたこともあったが、振り たことは、間違いない。にがく苦し 会いが自分の成長を促せていただい また、多くの生徒、保護者との出

| うできたと考えている。良き先輩た ちに恵まれ、苦しい時も協働してく 温かい心に支えられ、その役割を全 指導者たちに恵まれたことに感謝し れた職員の仲間たちと良きサッカー 私の教員生活は、周囲の方たちの

改めて感じている。 より、学校も人も成長するものだと 人とのつながりを強く求めることに やはり、「教育は、人なり」である。

ございました。 たいと考える。皆さま、ありがとう とがあれば、力を尽くし生きていき 謝しつつ、今後も人の力になれるこ 今まで支えていただいた皆さまに感 注いでいただきたいと願う。最後に、 留意しながら人とのつながりに力を 現場の先生方、自己の健康管理に

津市立南が丘小学校 校長 花岡 みどり



出会いや関わりがありました。 ると、その時々に、様々な方との これまでに何人かの校長先生の 教職に就いて三十三年、

うな取組が必要か、教員はどうあ を持ち、示されていました。何事 学校として今向かうべきところは も「在平素(平素に在り)」。日々 何か、子どもたちのためにどのよ 時お世話になった紀太功校長先生 どもたちも受けとめていました。 かれた小黒板に記された言葉を見 ました。玄関を入ったところに置 力や成果につながるのだと、一つ の取組の積み重ねこそが、大きな るべきかと、校長として常に考え の常に率先実行される姿勢です。 も忘れ難いのは、芸濃中学校在職 もとで勤務しましたが、その中で て、校長先生の思いを教職員も子 一つのできごとを大事にしてみえ

> の考え方や行動を振り返らずには わり、幅広く取組を続けていらっ ゆえのことと思います。 紀太先生ご自身の筋の通った姿勢 いられないのは、なんと言っても たびに、思わず背筋が伸び、自分 しゃいます。先生にお目にかかる 子どもたちの育ちや心の問題に関 今も同じように、地域づくりや

りの足りない私は頻繁に厳しく指 来訪者であれ、仕事上の相手であ 仕事ぶりに強く感銘を受けまし 導を受けましたが、徹底したその 決して労を惜しまないこと。気配 ていることに応える、そのために れ、十分に先方を知り、求められ のだということがわかりました。 っとという毎日でしたが、それ以 きません。その情報量と処理量は 事に向かう姿勢も忘れることがで せていただいた山口顕次長の、仕 次長は何よりも大事にされている 上に「相手に対する気遣い」を、 大変なもので、ついていくのがや 教育委員会で、そのもとで勤務さ ありますが、昨年度の一年間、県 他にも影響を受けた方は何人か

したいと改めて感じています。 作成を機に、日々の姿勢を問い直 ざるを得ません。今回のこの原稿 われて、信念にはほど遠いと言わ 自分自身を振り返ると、日々に追 さて、昨年四月から校長となり、

教師は教育の 紀北町立潮南中学校 校長 専門家であれ 中井 克 佳



り返ってみます。 すぎますが、平成という時代を振 まり、時代の節目を感じます。早 新学習指導要領への移行措置も始 年が最後の年。今春から小学校で 三十年続いた平成の時代も、

ました。その生徒への対応に無力 の頃は、校内暴力の嵐が吹き荒れ くさんの研究者と指導主事や教師 びたい」と切望し、日本カウンセ と心の乖離に苦しむ生徒に出会い 問題が静かに広がり始めました。 取り戻しました。同時に不登校の 中で平成に入る頃に学校は規律を 実践を振り返り、教師が変わる ていました。校長のもとで真摯に いました。その頃先生の元にはた ラー協会長の國分康孝先生に出会 に心の問題を解決出来る技術を学 感を感じ、「カウンセラーのよう いけれど登校できない」と、身体 十一万人を超え、私も「登校した 十三年には中学校の長期欠席が 私が教壇に立った昭和の終わり

研究と開発が熱心に行われていま

屋に呼び、次の話をしてくれまし 生は出会って三日目の晩に私を部 た。その心を見通したようで、先 ころ物足りなさが感じられまし めざしていた自分には、正直なと 心理療法の理論と技術の習得を

をシェアしている実践を目にしま を取り入れ、学びを深め、気づき 動を通して、生徒が自ら解決出来 れて、学習の場面でグループ学習 がグループの不思議な力に魅せら れたように、今はたくさんの教師 過ぎました。國分先生が示唆さ でした。あの晩から二十年の時が から鱗が剥がれる思いをした瞬間 る力を育てる専門家であれ。」目 育の専門家だ。教師はグループ活 解決に向けて支援する専門家だ。 病にならないしなやかな心を育て ているのは教育だ。教師はその教 「カウンセラーは、心の悩みを

うか。今も留まることなく歩み続 効果的な連携が可能になったこと ルカウンセラー等の専門家との いる全ての校長先生に感謝申し上 け、たくさんの刺激を発信されて の学校教育の成果ではないでしょ を育むようになったことは、平成 と、授業でグループ活動を取り入 徒はいます。ですが、教師はスクー 抱え、登校することがしんどい生 れ一人一人が自己肯定感や効力感 一方で、今もいろいろな事情を

地区校長会だより

南牟婁郡小学校長会

本校長会は、南牟婁郡「御浜小学校の九名の校長で構成されて小学校の九名の校長で構成されて小学校の九名の校長で構成されています。「南牟婁郡」は三重県最南端に位置し、熊野川を挟んで和南端に位置し、熊野川を挟んで和京に接している家庭も少主を「新宮」にしている家庭も少さくありません。

かつて南牟婁郡は、「紀和町」 と「鵜殿村」を加えた四つの町村 を「平成の大合併」により、紀和 で構成されていましたが、いわゆ る「平成の大合併」により、紀和 町は熊野市と、鵜殿村は紀宝町と 合併し、現在の形となりました。 また、平成二十三年九月に紀伊 半島南部を襲った台風十二号によ る「紀伊半島大水害」はまだまだ の海・山・川が織りなす吉野熊野 国立公園に囲まれた、自然豊かな 美しい地域です。

ほどのペースで研修会を行っていを越えて」をモットーに、月一回クラムを組もう。二つの町の垣根ち「南牟婁郡小学校長会」は、「スち「南牟婁郡小学校長会」は、「ス



東・北陸地区連合小学校長会教育海・北陸地区連合小学校長会教育海・北陸地区連合小学校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の考え方報交換を通して、各校長の表え方報交換を通して、各校長の表表の場所を送した。 本ど他地域から二・三名の方が仲など他地域から二・三名の方が仲など他地域から二・三名の方が仲など他地域から二・三名の方が仲など他地域から二・三名の方が中で、平成三十年度東ます。

今後も、前述のモットーを旨に、

を進めて行きたいと思います。とっても「魅力ある学校づくり」がら、子どもにとっても教職員にがら、子どもにとっても教職員にがら、子どもにとっても教職員に

四日市市中学校長会

「連携・協力・実行」

も。の実現のために、「生きる力」 ジョン」を策定しました。市内 実践し、゛輝く よっかいちの子ど の各種指導方針を基盤とした各校 育ビジョンをはじめ、国・県・市 ともに、 の総合教育会議の協議を経て「四 充実・向上に取り組んでいます。 徒を主体とした市の中学校教育の の「学校づくりビジョン」を作成 き、「第三次四日市市学校教育ビ 日市市教育大綱」を策定すると 「共に生きる力」を育むべく、生 一十二校の中学校は、この学校教 四日市市では、平成二十七年度 教育大綱の理念に基づ

各課題解決のための情報を収集・具体的には、役員会・理事会で、

整理して一定の方向性を作成し、北部・中部・南部の三つに分けた格ブロック会議で、意見・提案・各ブロック会議で、意見・提案・提言の基本的な考え方を議論・検提言の基本的な機会、地域の状況を出し合う情報交換の場でもあります。比較的少人数で話し合うため、日常の課題や悩みを共有し、ともに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに考え合い、校長としての自信やに表しています。

本会の活動目標である「連携



編集後記

展に取り組んでいます。

日々、四日市市の教育の充実と発い深め合いながら一丸となって、人の校長が、多様な考えを認め合一回のサイクルで活動し、二十二

協力・実行」のもと、ほぼ、

過ごしのこととお察しいたします。に陽が長くなり、春を感じられるようになりました。学年末にあたり、卒業になりました。学年末にあたり、卒業になりました。学年末にあたり、卒業になりました。学年末にあたり、卒業

謝申し上げます。

事いただきました皆様方に、心より感を無事に終えることができました。執を無事に終えることができました。執

いたします。
いたします。
来年度も会員相互の情報交換を図り、さらなる校長会組織の充実を図っつ会報となるよう、紙面の充実を図っつ会報となるよう、紙面の充実を図ったらなる校長会組織の充実に役立り、さらなる